



酒井 貴佳さん(33)
智子さん(35)
＝前沢区屋敷＝

前沢区あすか通にある、おしゃれな白い外観のお店。美容室とカフェが併設された「Hair & Cafe brooch」で、美容部門を担当するのが酒井夫妻です。

予感かした」と照れくさそうに笑う智子さん。その予感どおり、2人はすぐに恋に落ち、交際1年で結婚に至りました。結婚6年目の2010年、夫婦の夢が叶って「brooch」をオープン。カフェ部門は、智子さんの母と姉が経営しています。美容室の店内は、アンティークな家具や雑貨が並びおしゃれで落ち着いた空間。こだわりの古道具などの販売も行っています。

仕事や日常生活はもちろん、出掛けたり飲みに行ったりするのにも常と一緒にという酒井夫妻。貴佳さんは「いつも隣にいて、何かあっても1人で悩まなくていいのいい。いつも2人で話し合っています」とはにかみました。

ことしの冬で結婚して10年。お店は2人と同じ、自然で優しい雰囲気であふれています。訪れれば、赤ちゃんからお年寄りまで、酒井夫妻が素敵な魔法をかけてくれるでしょう。

雨の日も晴れの日も 12

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介



遠藤 樹くん
(江川区・岩谷堂小学校6年)

Interview

夢トーク

48 将来の夢は「自動車整備士とレーサー」

——学校での役割は？

生活委員会に所属しています。僕たちは「あいさつ日本一」の学校を目指して、昇降口であいさつ運動をしています。全校生徒が元気にあいさつをしてくれるようになるといいな。

——好きなものは何ですか？

スポーツが好きで、サッカー、バスケットボール、野球など色々します。7月からは、スケボー仲間にも誘われてアグレッシブインラインスケートを始めました。解放感が最高です！

——中学校へ進学したら、やっ

てみたいことはありますか？

野球部に入部したいです。スポ少ではキャッチャーでしたが、ピッチャーになって変化球を投げてみたいです。

——将来の夢を教えてください。

自動車整備士です。以前、ディーラーで働いていた車好きの父に連れて行ってもらって、サーキットでレースの決勝を見たことがきっかけ。整備士もいけれどレーサーも憧れます。

——もしレーサーになれば？

G T 500 クラスのレースに出場して、優勝したいです。



中高生の部活動や
委員会活動を紹介

青春讃歌

水沢第一高等学校 吹奏楽部

◎部員数 11人
◎顧問 羽岡 大輔 先生
◎部長 伊東 明日香 さん(2年)

このメンバーでしか奏でられない音楽を

7月に行われた全日本吹奏楽コンクール県南地区大会で、見事金賞に輝き、県大会への出場を果たした水沢第一高等学校吹奏楽部。初出場だった昨年は地区大会で敗退しましたが、2回目の参加で大きな成果をつかみました。

ことしの同部は3年生が不在。この時ステージで演奏したのは7人で、30人編成まで参加できるこのコンテストに最少人数での挑戦となりました。



文化祭に向けて猛練習

な中でも、伊東部長は「結果にこだわらず楽しみながら、7人でしかできない演奏ができた」と自分たちの演奏を振り返ります。顧問の羽岡先生も「2年生中心だからこ

そ、物怖じしないパワーがあった。まさかここまでの結果を出すとは」と目を細めました。

しかし当然ながら、栄光を手にするのは簡単ではありませんでした。コンクール前には、1年生、2年生、顧問の間でそれぞれ演奏に対する意識に食い違いが生まれたことも。話し合いに3日間を費やし、結果としてそれが絆が強まるきっかけになりました。

現在は10月11日、12日の両日に開催される文化祭に向け、練習に力が入る同部。伊東部長は「去年は聴きにきてくれた人が少なく寂しかった。ことしはお客さんを巻き込む楽しい演奏を企画しているので、一般のお客さんもたくさん来てほしい」とPRします。笑顔が絶えないという同部ならではのパワーあふれる演奏を、あなたもその耳で聴いてみませんか。



おうしゅう 羅針盤

ようやくのぎやうすい季節になりましたが、皆さんいかがお過ごしですか。

先月、事務事業・公の施設見直し案166項目の個票を公表し、見直しや廃止に至る理由、考え方を示しました。今後、工程表に沿って関係者と協議を進めて参ります。近い将来、人口減少による税収減や地方交付税の大幅減額、扶助費の増加による財源不足が見込まれます。これら避けて通ることのできない問題について皆さんと共に解決して参ります。個票は市役所や各総合支所、各地区センター、市ホームページで閲覧できますのでご覧ください。

国際宇宙ステーションで日本人初の船長を務めた宇宙飛行士・若田光一さんのミッシェン報告会が先月16日に開催されました。お馴染みの青

い作業着姿で登場し、子どもたちの質問に笑顔で応じた若田さん。小さいころからパイロットになろうと勉強してきたことが今の職業につながったそうで、目標を持って勉強することの大切さをあらためて感じました。将来、本市からも宇宙飛行士が誕生することを心待ちにしています。

北上山地のILC国内候補地選定から丸一年を迎えた先月23日、先端加速器科学技術推進シンポジウム2014 in 東北が開催されました。高エネルギー加速器研究機構長の鈴木厚人氏は「ILCは外交手段の一つで世界平和に対する貢献」と強調しました。前知事で日本創世会議座長の増田寛也氏は「東京一極集中と人口減少問題を打開するためのプロジェクトがILC」と指摘。先端加速器科学技術推進協議会大型プロジェクト部会長の山下了氏は「オールジャパンで取り組むための気運の醸成が成功の鍵」と訴えました。これら貴重な提言を受け、ILCの誘致実現に向けさらに努力して参ります。

奥州市長 小沢昌記